

今月の表紙



～ 第40回 市民植樹祭 ～
5月16日(日)に高丘森林公園で植樹祭が開催。緑あふれるまちを目指し、苗木を植えました。

4月22日(水)から26日(日)まで練習船「日本丸」が西港北埠頭に寄港。24日(土)にセイルドリル(帆を張る訓練)、25日(日)に船内が一般公開されました。期間中は多くの市民が訪れ、港や帆船を身近に感じるとともに、美しい帆船の姿は工業港である港に彩りを添えました。



「海の貴婦人」日本丸 苦小牧西港に寄港!

タウンスケッチ

Town Sketch ～まちの出来事～



火おこし器の原理を利用 電球を点灯させてみよう
火おこし器の原理を知る目的で、「火おこし器で電気をおこそう」が、5月15日(土)に科学センターで開催。15組の親子が参加し、火おこし器を回転して発電機を動かして電球を点灯させました。点灯の瞬間には参加者の笑顔がこぼれました。



市営少年野球場オープン 市長旗争奪少年野球大会
緑ヶ丘少年野球場ほか3会場で、5月2日(日)から4日(火)まで市長旗争奪少年野球大会が開催。大会には24チームが参加し、初の公式戦を待ち望んでいた選手たちは、冬場の練習の成果を発揮し、ハットとしたプレーで熱戦を展開していました。

まちなか再生総合プロジェクト! CAP

Central Tomakomai Active Project 詳細 まちづくり推進課 ☎32-6062

市では2月に「まちなか再生総合プロジェクト素案(CAP:キャップ)」を発表しました! このプロジェクトの概要についてシリーズでお知らせします!

第2回 まちなかのこれまで

まちこ ねえ博士! 前は「どんな人でも安心してずっと暮らせるまち」をまちなかに整備するため、「まちなか再生」という話だったけど、今までのまちなかはどんな移り変わりだったの?

博士 まちなかはね、118年前に苦小牧駅ができてから発展が始まったんだ。そして、100年前の王子製紙苦小牧工場操業開始によって、たくさんの社宅が建てられてお店も建ち並んだのだよ。

まちこ ふーん、100年以上も昔から「まちなか」があったんだ。歴史あるのね。

博士 そう。その後、工業の発展とともにまち全体の人口は増え続け、住宅地もどんどん拡大し、郊外にも人が住むようになったのだよ。

まちこ そう、それでまちなかはどうなったの?

博士 郊外の住宅地の発展とともにまちなかに住む人は減ったのだけど、昭和50年代から駅周辺に大型店ができたり、バスターミナルや駅前広場などが整備されて、商業の中心地として栄えたんだ。

まちこ なるほど。昔はずいぶんにぎやかだったんですね。

博士 そうだね。ところが最近では郊外に大型店ができたり、インターネットでも買物ができるようになって消費者動向が多様化して、まちなかに足を運ぶ人が減ってしまったのだよ。

まちこ そうなんだあ。でも将来人口が減ったり、お年寄りが増えたときのために、いろいろな施設がそろっている「まちなか」を暮らしやすい生活空間として充実させていくことが重要なんですよ?

博士 そのとおり! よく覚えているね。そのためにCAPを展開して「まちなか再生」するんだ!

今回はCAPの事業内容についてです!

CloseUp

クローズアップ

第3次行政改革推進計画の取組結果について

詳細 行政改革推進室 ☎32-6169

財政健全化と行政改革の推進を目的に平成17年度に策定した第3次苦小牧市行政改革推進計画が、平成22年3月末をもって5年間の計画期間を終了しました。この計画の取組結果についてお知らせします

この行政改革推進計画は厳しい財政状況を背景として、平成17年度から21年度までの5年間で取り組むべき項目を掲げ、市の財源不足を補うという大きな役割を担ってきました。

結果としては5年間の合計で約97億円の効果を生み出し、掲げた削減目標も達成することができました。

第3次行政改革推進計画の5年間における主な取り組み

取組項目数119項目のうち、『実施済み』または『検討済み』は115項目になりました

取組項目数の達成率 96.6%

● 主な取組内容

- 市営バスの平成24年度からの民間移譲を決定
- 新第1学校給食共同調理場の平成24年度供用開始から、調理業務を民間委託の方向性で進める
- 可燃ごみ収集業務の民間委託を拡大
- 高砂下水処理センターの管理運営業務の民間委託を実施
- コミセンやスポーツ施設など、60の施設において指定管理者制度を導入
- 正規職員数の削減(5年間で267人減)
- 給与の独自削減、地域給制導入、特殊勤務手当の見直し
- 各種補助金、負担金の見直し



● 削減効果の主な内容

削減目標額 96億4,800万円	削減達成率 100.3%	削減効果額 96億8,100万円
---------------------	-----------------	---------------------

● 職員数の削減 (平成21年・平成16年対比 267人減 医療技術職を除く)	41億6,700万円
● 給与削減 (独自削減・地域給導入など)	38億9,500万円
● 経常費の削減 (各種補助金・負担金の見直しなど)	24億9,800万円
● 事務事業の適正化など	2億0,500万円
● 民間委託の推進などによる委託経費増 ● 情報化推進による導入経費の増 ● 組織見直しなどによる経費の増 ● サービス拡充に伴う経費の増	10億8,400万円
合計	96億8,100万円

● 取組中止項目

- 景気回復の兆しが見られないことから、教育扶助認定基準の見直しは中止
- プライバシー意識の高まりなどに配慮し、登録調査員制度の導入は中止

取組結果の詳細については行政改革推進室のホームページをご覧ください
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> で行政改革推進室 検索

第3次行政改革推進計画の取組項目以外に次の取り組みを行いました

- 養護老人ホーム『静和荘』の民間移譲を実施しました。
- 各部署の執務室など身の回り清掃を職員で行うように改めました。
- 差押物件のインターネット公売を開始しました。